

令和6年度決算

公営企業の資金不足比率の状況

(単位: %、千円)

公営企業会計名称	令和6年度 資金不足比率	資金不足額	令和5年度 資金不足比率	資金不足額
水道事業会計	-	△1,288,857	-	△1,048,776
下水道事業会計	-	△230,581	-	△245,880
病院事業会計	7.7	448,233	0.7	46,688
市民太陽光発電所事業特別会計	-	△13,386	-	△15,150
工業用地造成事業特別会計	-	△23,264	-	△24,433
宅地造成事業特別会計	-	△50,790	-	△45,290

※ 資金不足額については、黒字の場合は負数で表示されます。

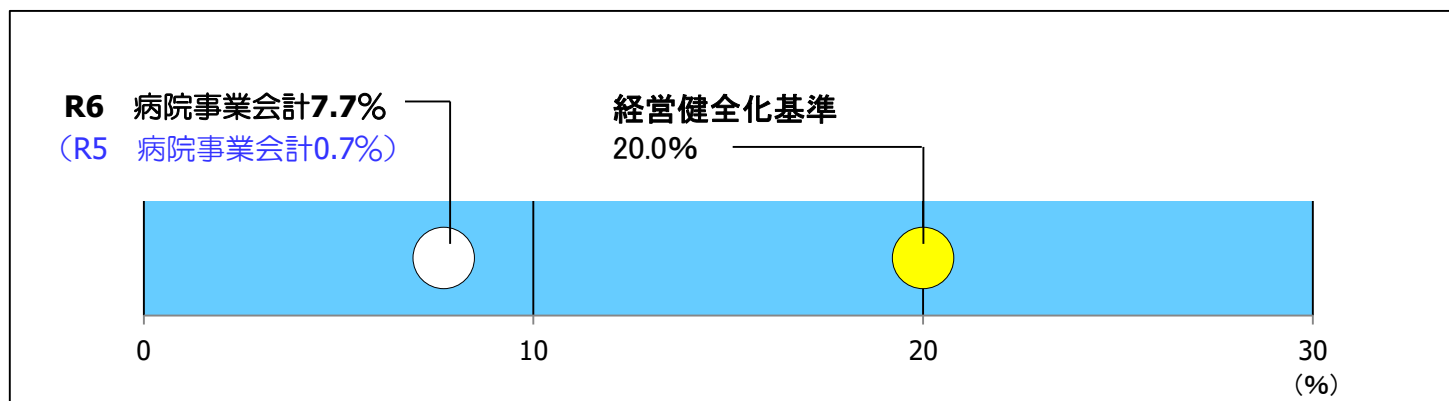
経営健全化基準

20.0

資金不足比率

病院事業会計のみ該当
その他5会計は非該当

- 公営企業の料金収入の規模に対する資金不足額の程度を示します。数値が大きいほど経営状況が深刻化していることを表します。
- 令和6年度は病院事業会計において4億4,823万3千円の資金不足が発生し、資金不足比率は7.7%となりました。主な要因としては、医療従事者の人員不足等による医業収益の低迷及び人件費・委託費等の高騰が挙げられます。
- 病院事業会計以外の5公営企業会計では、資金不足は生じていません。



$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$